

♪♪ 放映開始に向けて活動しています ♪♪

■「古閑裕而のまち・ふくしまシンフォニー」

古閑裕而さんを活かしたまちづくりを官民協働で推進する組織「古閑裕而のまち・ふくしま」協議会を立ち上げ、まちづくりの施策案である「古閑裕而のまち・ふくしまシンフォニー※」を取りまとめました。

取り組み事例

- ・市役所の電話保留音変更
- ・オリジナルロゴマークの作成
- 【予定】
- ・古閑裕而メロディーバスの運行
- ・古閑裕而ストリートの整備
- ・古閑裕而記念館リニューアル など



※「古閑裕而のまち・ふくしまシンフォニー」の施策案について、詳しくは市ホームページをご覧ください。



オリジナルロゴマークは、のぼり旗やお土産など、申請していただくことでさまざまな場面で活用して盛り上げよう！

■「福島市ロケツーリズム推進会議」を立ち上げました

ロケツーリズムとは…映画やドラマ、アニメなどの映像作品の撮影地を観光資源として活用すること。

【メリット】

- ♪ 季節に縛られず、これまで観光スポットとされていなかった地域にもスポットが当たる。
- ♪ ドラマなどをきっかけに本市を訪れた方々に、他の魅力も伝えることで再来訪につながる。
- ♪ 市民が本市の魅力を再認識し、誇りを持つ。



「エール」だけでなく、さまざまな地域の資源を活かしたロケ誘致・支援を行い、本市を盛り上げます！

過去の連続テレビ小説舞台地担当者などを招いて、「朝ドラ」がもたらす波及効果について講演会を開催しました。

■「古閑夫妻・古閑メロディーからのエール」エピソード募集！

古閑裕而さんの楽曲などに励まされた、元気をもらった思い出やエピソードを募集します。お預かりした思い出やエピソードは、古閑さんや「エール」を活かしたまちづくり事業で広く活用させていただきます。

- テーマ / ①私の人生の中の古閑夫妻との思い出・エピソード
- ②楽曲に励まされた、元気をもらった思い出・エピソード

■ 期間 / 2月28日(金)まで(必着)

■ 応募方法 / ①住所②氏名③年齢④電話番号と、思い出やエピソードを添えて文化振興課へ郵送、または市ホームページのメールフォームで

※住所(県まで)、氏名、エピソードは一般公開を原則とします。また、取材などをさせていただく場合があります。

ナビゲーターは本市出身のタレント小林愛さんです。



市政特別番組
「古閑裕而
時を越える応援歌」
(全4回)

午後8時54分～8時58分福島テレビで放送

- 1月9日(木) 第1回「ふるさと福島への思い」
- 1月16日(木) 第2回「戦後の日本をいやすメロディ」
- 1月23日(木) 第3回「人生の応援歌」
- 1月30日(木) 第4回「福島から世界へ」

※番組編成の都合により、放送時間が変更になる場合があります。

3月末から9月末までの連続テレビ小説「エール」放映や、7月22・23日のソフトボール競技、7月29日には野球競技が開催される東京2020大会というビッグイベントをみんなで盛り上げ、福島から全国へそして世界へ「エール」を送れるまちにしていきたいと思います。

「古閑裕而のまち・ふくしまシンフォニー」

♪ 古閑裕而さんの経歴

古閑裕而さん(本名 古閑勇治)は、明治42年福島市大町の呉服店に生まれ、昭和5年9月に日本コロムビア株式会社に入社し、作曲家として入社しました。作曲作品総数は5千曲にも及び、スポーツ・ラジオドラマ・歌謡曲・演劇・校歌・社歌など多岐にわたっています。



▲若かりし日の古閑裕而さん(左)と金子さん(右)

♪ 古閑裕而・金子夫妻の出会い

古閑裕而さんは、クラシック音楽を独学で学び、学生時代から多くの習作を残しました。内山金子さんは愛知県豊橋市に生まれ、小さい頃から音楽好きで、高校を卒業する頃から宝塚音楽学校への進学を夢見て、名古屋の知人宅で雑誌作りを手伝っていました。

◆古閑裕而さんの代表曲◆
(スポーツ関連)

1. 全国高等学校野球選手権大会歌
「栄冠は君に輝く」
「夏の甲子園」といえばコレ！福島駅の新幹線発車メロディでも使われています。
2. オリンピック・マーチ
1964年の東京オリンピックの入場行進の際に使用されました。
3. 阪神タイガースの歌「六甲おろし」
まさに阪神タイガースを体現する一曲。ファンの心を熱くさせる音楽です。
4. 巨人軍の歌「闘魂こめて」
ライバルチームの歌も作曲しています。角が立たないのは古閑さんのお人柄でしょうか。

出版社の作曲コンクールで2等に入選したとの記事が掲載されました。この記事を見て感激した金子さんは、裕而さんへ「楽譜を送ってほしい」と手紙を出します。それがきっかけで約3カ月にわたり文通が続き、順調に愛を育みました。そしてついに裕而さんは豊橋市まで金子さんに会いに行き、結婚しました。当時、裕而さんが20歳、金子さんが18歳でした。

いよいよ2020年春から放映開始！連続テレビ小説「エール」

◆ 概要 ◆

昭和の音楽史を代表する作曲家・古閑裕而さんと妻で歌手としても活躍した金子さんをモデルに音楽とともに生きた夫婦の物語。主人公の古山裕一を窪田正孝さん(左)、その妻となる関内音を二階堂ふみさん(右)が演じる。

裕一の海外の作曲コンクール入賞をきっかけに出逢い、夫婦二人三脚で数々のヒット曲を生み出し、戦争で傷ついた人々の心を音楽の力で勇気付けようと、新しい時代の音楽を奏でていく物語。



時代を越えても色あせない古閑メロディー。音楽のまち・ふくしまの礎を築いた偉大な作曲家古閑裕而さんと妻金子さんをモデルとした連続テレビ小説が今春から放映されます。特集では古閑さんの功績と二人の出会い、音楽を未来へ語り継ぐと始まったまちづくりの取り組みを紹介いたします。

■ 文化振興課 ☎5255-3785
■ 観光コンベンション推進室(エール・ロケツーリズムについて) ☎5721-5718・5719